



広
報

わたむき

第 40 号
発行 綿向生産森林組合
印刷 日野町大字村井1,352

謹賀新年



御挨拶

組合長理事
嶋村 寿雄

新年明けましておめでとうございます
組合員の皆さまには、良きお年をお迎えのこととお慶び申し上げます
本年も何卒宜しくお願い申し上げます

さて、昨年12月には年初に計画をしておりました「SGEC森林管理認証」の取得を完了致しました

これには 滋賀県が進められている「しがの林業産業化アクションプラン」の支援を受け 取得費用に対し補助金を頂きました

本年はこの認証を組合の管理・運営に根付かせて行くとともに認証材としての販路開拓にも取り組んで参ります

本年も 組合員皆さま方のご支援 ご協力を頂き 一歩ずつではありますが、着実な組合運営を進めて参りますので 宜しくお願い申し上げます



今年もまた、組合役員OBの方のご協力によりまして、組合事務所玄関には、大変大きな「門松」を飾って頂きました。

平成20年に組合事務所が新築されて以来、毎年お正月には玄関先に高さ約3mもある大きな「門松」を飾って頂いております。



組合玄関

当組合が紹介されました

森林・林業に関するニュースレター「もりん・ちゅ湖東」で当組合の活動が紹介されました。

平成23年より サントリーホールディングス株式会社さまとのパートナー協定「天然水の森 近江」の内容や、獣害対策の取り組みなどです。

また、滋賀 林業雇用改善情報 では「認定事業体の紹介」で取り上げて頂き、組合の概要や歴史について紹介されました。

いずれも林業関係団体等には配布されておりますが、この組合の知名度を上げる 良い手段となりました。



情報誌

- もりん・ちゅ湖東 Vol.21
- 林業雇用改善情報 Vol.24

来訪者

11月28日(火) 京丹波町生産森林組合連絡協議会の視察研修で、22名の役員の皆さまがお越しになり、現地も含め、組合の概要説明を致しました。

また、12月12日(火)には、イギリス国立森林研究所のグレゴリー博士が県立大学 高橋教授とともに組合山林の視察に来られ、サントリー事業なども含め、日本の森林林業について参考にされました。

森林管理

—昨年、6月の第69回通常総代会で提案し、ご承認を頂き、また第37号の広報「わたむき」でもご紹介をさせていただきました「森林管理認証」について、日本森林技術協会より12月1日付けで承認を受けることができました。

当組合の広大な山林も、先人のご努力により立派に管理をされてまいりました。この山林(日野町内1, 042ha)を「日本森林技術協会」により、第三者の立場から一定の基準で審査を実施してもらい、適切な森林管理が行われているか、持続可能な森林経営が行われているか、森林や組織について認証をしてもらう制度です。

緑の循環(SGEC) 7つの基準

- 基準1 認証対象森林の明示およびその管理方針の確定
- 基準2 生物多様性の保全
- 基準3 土壌および水資源の保全と維持
- 基準4 森林生態系の生産力および健全性の維持
- 基準5 持続的森林経営のための法的、制度的枠組み
- 基準6 社会、経済的便益の維持および増進
- 基準7 モニタリングと情報公開



「緑の循環」

認証会議ロゴマーク

SGEC 管理・運営 4原則

- 1) 持続可能な森林経営を基本
- 2) 認証制度の信頼性の確保
- 3) 認証制度の説明責任の履行
- 4) 認証制度の適応性・多様性の確保



PEFC 国際認証 ロゴマーク

SGEC 認証 第三者認証

SGEC認証は、ISO国際基準に基づき、認証機関から認定を受けた認証機関による第三者認証

組合材の今後の活用

昭和39年3月に発足した綿向生産森林組合も、今日まで、造林・保育を主な作業としてきましたが、戦後に植林されたヒノキ・スギも含め収穫期を迎えております。



管理の行き届いた山林

この先、保育作業も重要ですが、広大な山林に備蓄された木材を販売し、新たに植林作業を行う時期が来ています。

木材価格が低迷する中、少しでも価格の上昇に繋がればと、今回取得の森林管理認証に期待を寄せるところです。

今回の認証は、木材に対する「品質管理」ではありませんが、伐採から販売まで合法的に行い、安心と信頼の木材であることをPRし、来る滋賀国体での木材需要に対応できるよう、認証取得を進めてまいりました。



搬出の状況

今後、様々な事業所においても、認証取得がされることと思われませんが、その先手を打ち、注目と話題においても、当組合材が取り上げてもらえればと考えております。

取得や更新においては、経費が必要となりますが、組合員皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

○台風被害の状況○

昨年9月～10月にかけ、台風が通過しましたが、組合が管理する林道などにおいても被害が発生し、一部では崩土などにより、音羽谷林道・杓子ヒミズ谷林道・池の谷作業道では通行止めをし、

災害復旧に努めました。

11月10日の「綿向山の日」を控え北畑林道・水木谷林道では整備を進めましたが、勝手谷林道では、現在も路面が流出した箇所もあり通行が困難な状況です。



活動報告

○ 日野まちなか歴史散策と秋の「棧敷窓アート」協力

秋の恒例イベントとなりました「棧敷窓アート」も、10月21日(土)には台風21号の影響で荒天中止となってしまいました。そのような中、組合事務所玄関前では、子どもを対象に「木工体験」や「綿菓子作り」体験を行いました。

雨の中、玄関では木片や木の実で作ったアート作品で盛り上がっていました。



○ 林産物 特売会

氏郷まつり「楽市楽座2017」も雨天中止となった10月28日(土)には、組合北側駐車場で 林産物特売会 を開催致しました。

人気の「乾燥椎茸」は在庫がありませんでしたが、「杭」や「椎茸ホダ木」を販売し、77,300円の売上げがありました。

「椎茸ホダ木」は旬物ですが、「杭材」1.0m・1.2m・1.5mは常時在庫がございますので、畑作業などにもご利用下さい。

○ 総代山林巡視

11月5日(日)第13期総代の皆さまによる「山林巡視」を開催し、70名の総代さまのご参加を頂きました。

午前9時、グリム冒険の森駐車場で開会し、千本野～水無谷(演習林)～浄郷～ハス池～勝手谷の約5kmのコースで、低コスト間伐作業路を中心に視察と現地の確認を頂きました。

当組合では、間伐搬出はもとより、山林管理の重要な施設と考へ、作業路開設には精力的に取り組んでおります。



○ ふれあい綿向山Day 協力

日野町は、平成8年10月29日に綿向山の標高(1,110m)にちなんで、「11月10日」を「綿向山の日」に制定されました。

既に21年が経過し、リピーターも含め、この日を楽しみに県内外から大勢の登山者が綿向山を訪れます。

今年も組合役員の皆さまには早朝より水木谷登山口に集合して頂き、「綿向山」は当組合の所有林であることをPRし、また展示用パネルでは林業の紹介や、「緑の募金」活動など、終日ご協力を願いました。

この日は、天候にも恵まれ、900人余りの登山者で大変賑わった綿向山一帯でした。

○ 積水樹脂(株)森林保全活動

10月14日(土)に予定された森林保全活動も雨天により21日(土)に延期されましたが、この日もまた雨天となり、今年の活動は中止となり残念な結果に終わりました。

29年度12月末の事業状況

○間伐作業	18.0 ha	//
○枝打作業	— ha	//
○作業路開設作業	6,000m	//
○間伐材等搬出	1,316m ³	//
○間伐材等売上げ	1,056万円	//

第3四半期を終え、決算状況が気になる
ところですが、販売事業においては、計画
数量をやや上回ると予想されます。
決算までの間、販売事業に努力致します。

役員(理事・監事)改選のお知らせ

第19期役員(H27.6～H30.6)も、今年6月開催予定の「第71回 通常総代会」で任期満了を迎えます。

西大路区・鎌掛区・日野区の総代代表の皆さまには 地区毎に「役員推薦会議」を開催して頂き、候補者の選考をお願い致します。

詳しくは、3月開催予定の総代代表者会で説明させていただきますので 宜しくお申し込み致します。



広報

わたむき+



ホームページ

綿向生産森林組合

検索

広報39号、ケム冒険の森施設利用券、たくさんのご応募ありがとうございました。ご応募いただいた中の“つぶやき”を一つご紹介します。



『 あ、綿向山の見える所迄
無事 今日も帰って来れた
うん もう一息、
有難い山に思えるなー 』



皆さんも、朝・昼・夕の綿向山を眺めてみてはいかがでしょうか・・・
いろんな姿をした綿向山が楽しめるのではないのでしょうか♪

松下幸之助（PHP文庫）
幸運を引き寄せる言葉

喜ぶことを知り、ありがたさを知り、感謝する心を知っていれば、この世は非常に楽しいものになる。

きみ一人というものは、社会にとって尊いものだ。その尊いきみ自身を、もった生かさないと困る。

良い考えでも、実行に移そうと考えているうちに周囲の情勢が一変して、時機を失いかねない。

“ありがとう” “お陰さまで”のひとことが、どれほどの人の心を豊かにしていることか。

日常の生活の中で、大切な言葉ではないでしょうか。

組合員さんより質問

日野には森林組合が2つありますがどう違うのでしょうか？

○綿向生産森林組合 ○滋賀中央森林組合(旧 日野町森林組合)

『森林組合』は、個人所有林の山林管理のため、所有者が加入している組合であり、『生産森林組合』は個人が出資した共同の所有林を管理している組合です。



クイズに答えて商品券5,000円分ゲット!

※正解者の中から抽選で3名様にプレゼント!
(当選者の発表は賞品の発送をもって、かえさせていただきます。)



綿向生産森林組合マーク

Q. 当組合のマークの由来は何でしょう？

- 応募資格 組合員に限る
- 応募方法 官製ハガキに、答え・住所・氏名・電話番号・コメントをご記入ください。
- 締め切り 平成30年2月28日(水) 当日消印有効

★答えは、次のページにて・・・

農繁期ですよ～(*。*)
杭 どうですか～

(税込)

1.0m	302円/本
1.2m	356円/本
1.5m	486円/本



通年販売しています。いつでもどうぞ。

(但し、土・日・祝日は休みです)

Q. 当組合のマークの由来は何でしょう？

**A. 「西大路」「鎌掛」「日野」の3地区を山に例え、
「山」の3つを寄せ、組合のマークとなった。**

組合のマークの中に「山」の文字が3つあります。

これは「西大路」「鎌掛」「日野」の3地区を示し、3地区が集まってできた組合を意味します。

歴史は古く、昭和20年代には原案が作成されていたようで、

当時の町役場 石岡助役 によるデザインだそうです。